

告知端末 / IP電話 / インターネット

CATVの加入申し込み書類の中に、「多重情報装置（音声告知端末機）設置承諾書」というものがあります。これは、「音声告知端末機」と「IP専用電話機」を、設置してもいいですよ、という許可書です。許可するので、工事費はもちろん運用費も市役所持ちです。（電気代だけは少々かかります。月3000円くらい）

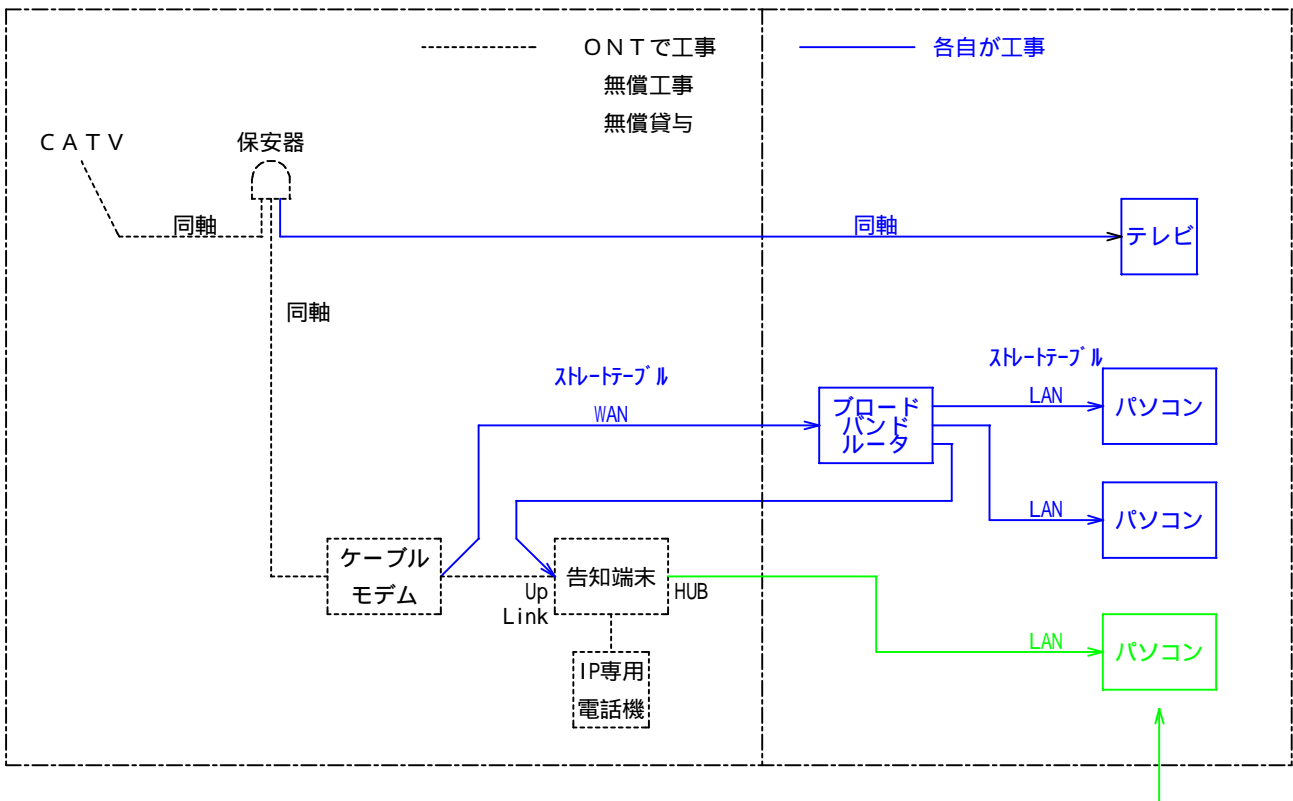
音声告知端末機とは、由利本荘市からの緊急放送用スピーカのようなものです。災害時だけでなく、普段もいろいろな案内が行われます。また、FMラジオを内蔵していますので、FMラジオを聴くこともできます。アンテナは不要です。

IP電話は、世界中のIP電話および加入電話と、無料または格安料金で、通話できます。ONT内のIP電話とは、8+NTT番号で接続できます。ONT外へ発信するためには、ONTから、IP電話番号（050- -xxxx）をもらう必要があります。

このように、便利な機械ですので、設置を承諾した方が良いでしょう。ただ、屋内配線工事が必要ですし、地元の業者が派遣されるとは限りませんので、配線ルートおよび施工方法については、少々わがままもいべきです。岩城では、これで泣いた方が、たくさんあります。

ONTでは、インターネット接続サービスも行っています。ONTへのサービス申し込みはもちろん必要ですが、パソコンの接続と設定は自分で行わなければなりません。

パソコンの接続方法 ONTに確認してはませんが、多分こうなるはずです。



パソコンが1台だけの場合は、ルータを使用せず、告知端末のHUB端子に接続することもできます。

ルータとは、パソコンの自動切り換え機です。これが有ると、複数のパソコンが同時にインターネットに接続できます。また、ルータは門番の役目（ファイアウォール）もしますので、安全性（セキュリティレベル）が高くなります。